

令和元年度

水道事業会計決算概要説明書
工業用水道事業会計決算概要説明書

大阪広域水道企業団

目 次

水道事業会計決算概要説明書

水道用水供給事業	1
市町村域水道事業	6
泉南水道事業	6
四條畷水道事業	10
阪南水道事業	14
豊能水道事業	18
忠岡水道事業	22
田尻水道事業	26
岬水道事業	30
太子水道事業	34
千早赤阪水道事業	38

工業用水道事業会計決算概要説明書

工業用水道事業	42
---------	----

水道事業会計

《水道用水供給事業》

1 決算の概要

令和元年度決算は平成 30 年度と比べ、料金収入の減等により事業収益は減少しました。

一方、事業費用は維持管理費や減価償却費の増等により増加しましたが、53 億 44 百万円の単年度黒字となりました。

また、令和元年度未処分利益剰余金については、減債積立金に 17 億 92 百万円、水道事業統合促進積立金に 1 億 53 百万円、令和元年度特別利益積立金に 17 億円を積み立て、61 億 82 百万円を資本金に組み入れる予定です。

【損益収支の推移】

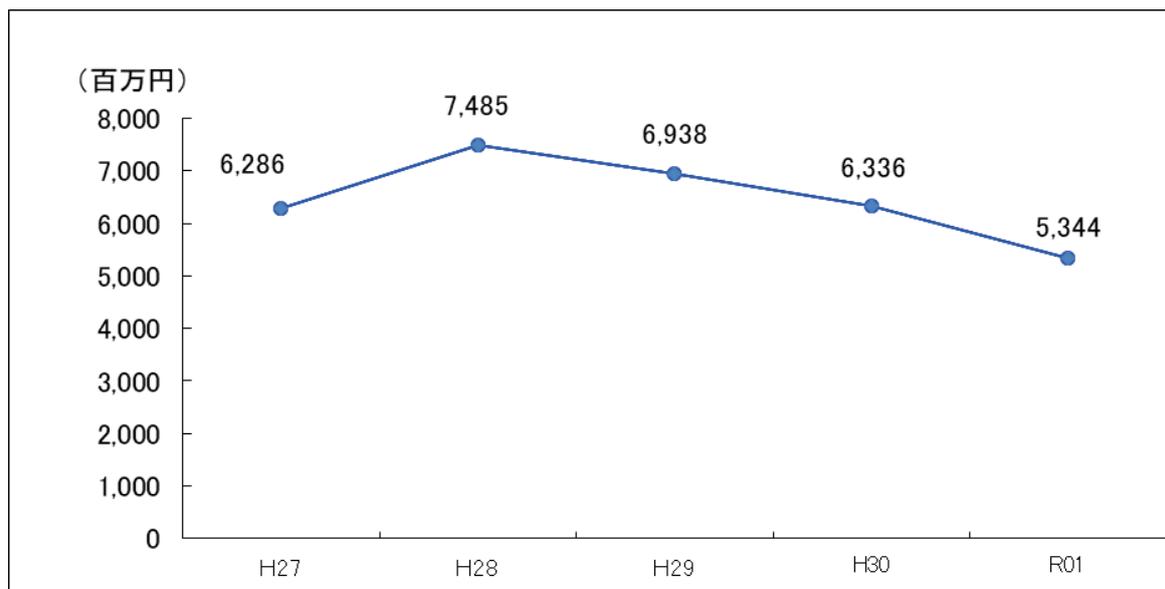
(単位：千円)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
事業収益	42,178,853	41,778,979	41,771,221	39,841,400	39,401,752
事業費用	35,893,206	34,293,763	34,832,785	33,505,190	34,057,259
単年度損益	6,285,647	7,485,216	6,938,436	6,336,210	5,344,493
未処分利益剰余金	0	0	797,303	6,978,209	11,526,321
単年度損益	6,285,647	7,485,216	6,938,436	6,336,210	5,344,493
繰越欠損金補填額	△6,285,647	△7,485,216	△6,141,133	0	0
未処分利益剰余金変動額(※1)	0	0	0	641,999	6,181,828
利益処分(案)	0	0	797,303	6,978,209	9,826,321
減債積立金	0	0	641,999	6,181,828	1,791,804
水道事業統合促進積立金	0	0	155,304	154,382	152,689
令和元年度特別利益積立金	0	0	0	0	1,700,000
資本金	0	0	0	641,999	6,181,828
累積損益(※2)	△13,626,349	△6,141,133	0	0	1,700,000
有収水量(千 m ³)	518,621	515,835	517,682	514,606	508,962

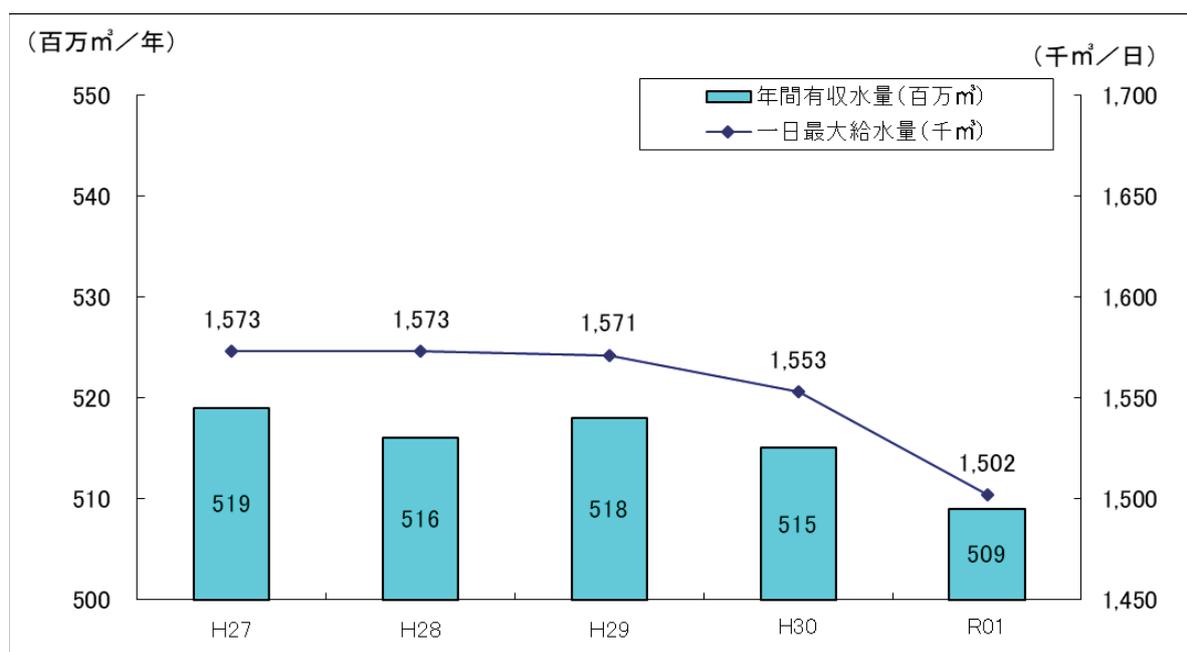
(※1)未処分利益剰余金変動額は、企業債の償還に充当した減債積立金を振り替えた額です。

(※2)平成 22 年度に水源開発事業撤退に伴う特別損失処理により、521 億 28 百万円の単年度赤字となったことから同年に 426 億 58 百万円の欠損金を計上したものです。

【単年度損益の推移】



【年間有収水量・一日最大給水量の推移】



2 建設改良費の概況

(単位 円)

建設改良費	14,179,183,831
改良費	12,202,051,920
工事費	11,637,806,727
事務費	564,245,193
建設受託工事費	575,154,507
負担金	1,401,977,404
水利事業負担金	1,401,977,404

3 企業債及び一時借入金の概況

(1) 企業債の概況

(単位 円)

前年度末未償還額	124,747,151,893
本年度起債額	4,200,000,000
本年度償還額	9,721,545,818
本年度末未償還額	119,225,606,075

令和元年度は、建設企業債 42 億円を発行しました。

(2) 一時借入金の概況

(単位 円)

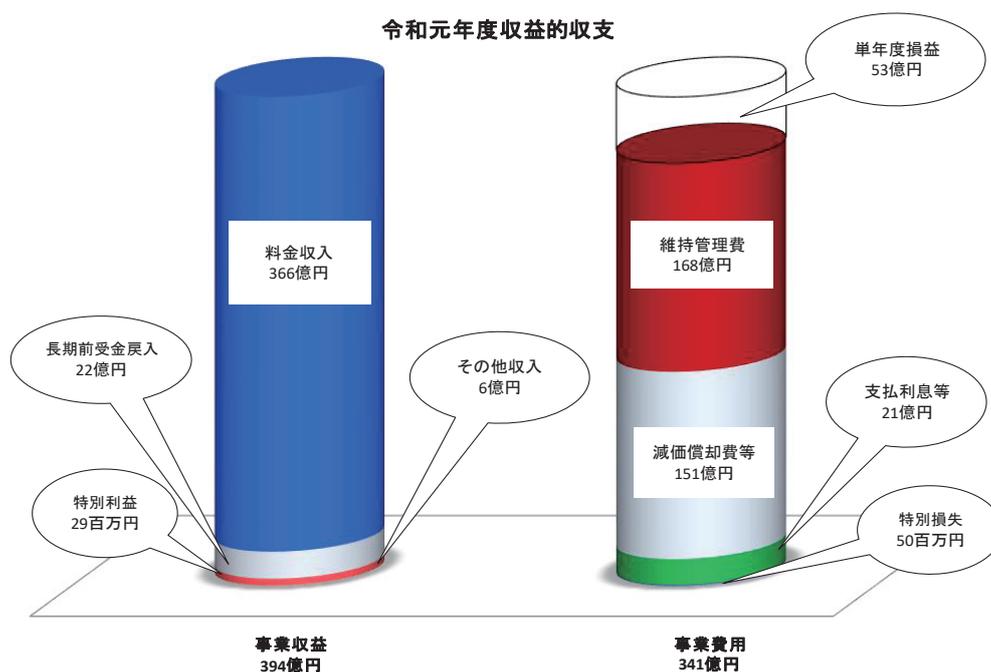
前年度末残高	0
本年度借入残高最高額	0
本年度末残高	0

一時借入金はありません。

4 前年度決算との比較(収益的収支)

(単位：千円、%)

	平成30年度(A)	令和元年度(B)	差引(B-A)	前年度比
事業収益(a)	39,841,400	39,401,752	△ 439,648	98.90
料金収入	37,047,882	36,645,388	△ 402,494	98.91
長期前受金戻入	2,185,379	2,176,266	△ 9,113	99.58
その他収入	606,942	550,603	△ 56,339	90.72
特別利益	1,197	29,495	28,298	2,464.08
事業費用(b)	33,505,190	34,057,259	552,069	101.65
維持管理費	16,338,245	16,798,194	459,949	102.82
減価償却費等	14,803,158	15,102,986	299,828	102.03
支払利息等	2,363,787	2,106,295	△ 257,492	89.11
特別損失	0	49,784	49,784	皆増
単年度損益(a-b)	6,336,210	5,344,493	△ 991,717	84.35
未処分利益剰余金	6,978,209	11,526,321	—	—
単年度損益	6,336,210	5,344,493	—	—
未処分利益剰余金変動額	641,999	6,181,828	—	—
前年度繰越利益剰余金	0	0	—	—
利益処分(案)	6,978,209	9,826,321	—	—
減債積立金	6,181,828	1,791,804	—	—
水道事業統合促進積立金	154,382	152,689	—	—
令和元年度特別利益積立金	0	1,700,000	—	—
資本金	641,999	6,181,828	—	—
累積損益	0	1,700,000	—	—
有収水量(千m ³)	514,606	508,962	△ 5,644	98.90



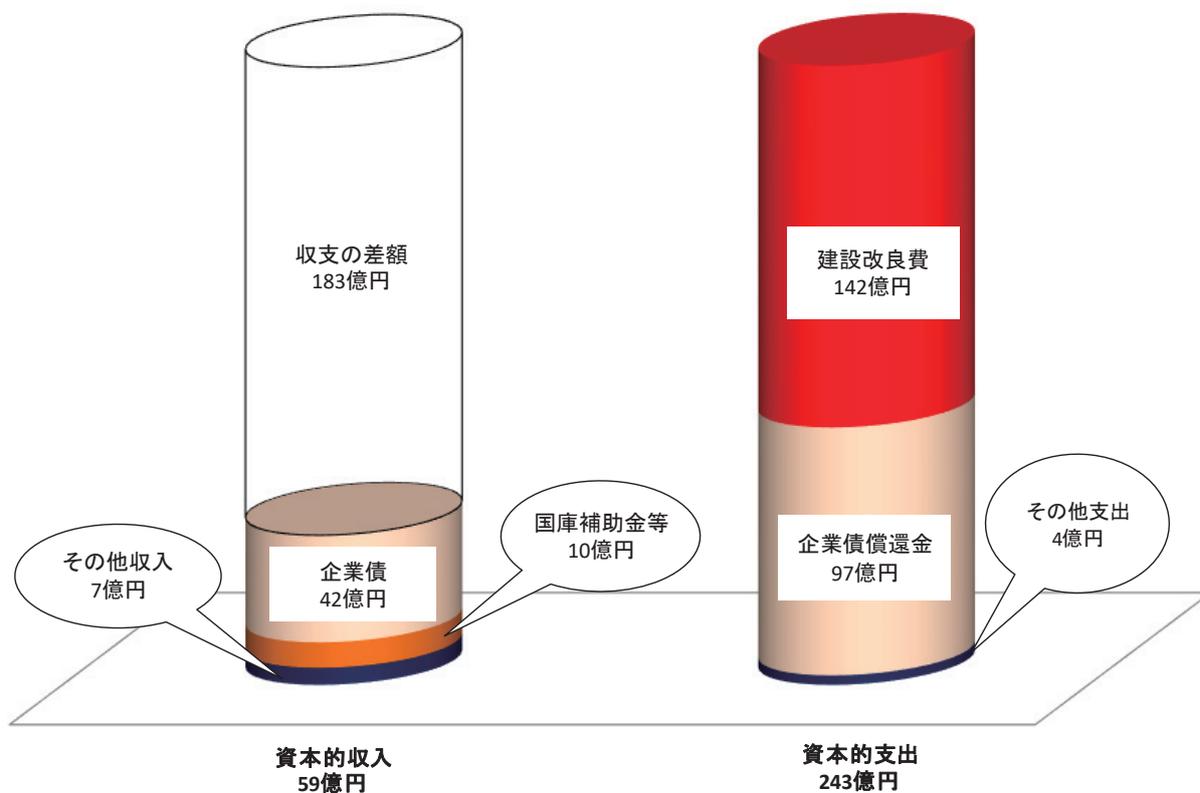
5 前年度決算との比較(資本的収支)

(単位：千円、%)

	平成30年度 (A)	令和元年度 (B)	差引 (B - A)	前年度比
資本的収入	5,691,876	5,922,579	230,703	104.05
企業債	4,000,000	4,200,000	200,000	105.00
国庫補助金等	1,267,472	1,055,662	△211,810	83.29
その他収入	424,404	666,917	242,513	157.14
資本的支出	25,648,245	24,272,464	△1,375,781	94.64
建設改良費	15,625,904	14,179,184	△1,446,720	90.74
企業債償還金	10,022,341	9,721,546	△300,795	97.00
その他支出	0	371,734	371,734	皆増
収支の差額 (※)	△19,956,369	△18,349,885	—	—

※収支の差額については、内部留保資金等で補てんしました。

令和元年度資本的収支



《市町村域水道事業》

(泉南水道事業)

1 決算の概要

令和元年度決算は平成 30 年度と比べ、料金収入の減等により事業収益は減少しました。

一方、事業費用も資産減耗費や維持管理費の減等により減少し、1 億 92 百万円の単年度黒字となりました。

また、令和元年度未処分利益剰余金については、減債積立金に 6 億 59 百万円を積み立て、2 億 44 百万円を資本金に組み入れる予定です。

【損益収支の推移】

(単位：千円)

	平成 30 年度 (※ 1)	令和元年度
事業収益	1,657,294	1,610,678
事業費用	1,826,628	1,418,998
単年度損益	△169,334	191,680
未処分利益剰余金	534,634	970,233
単年度損益	△169,334	191,680
未処分利益剰余金変動額(※ 2)	0	243,919
前年度繰越利益剰余金	703,968	534,634
利益処分(案)	0	903,233
減債積立金	0	659,314
資本金	0	243,919
累積損益	534,634	67,000
有収水量(千 m ³)	6,610	6,663

(※ 1) 平成 30 年度決算数値は、水道事業統合前の団体における決算数値です。

(※ 2) 未処分利益剰余金変動額は、企業債の償還及び建設改良費に充当した減債積立金及び建設改良積立金を振り替えた額です。

2 建設改良費の概況

建設改良費

177,351,607 円

3 企業債及び一時借入金の概況

(1) 企業債の概況

(単位 円)

前年度末未償還額	2,918,762,942
本年度起債額	0
本年度償還額	214,342,332
本年度末未償還額	2,704,420,610

新規発行はありません。

(2) 一時借入金の概況

(単位 円)

前年度末残高	0
本年度借入残高最高額	0
本年度末残高	0

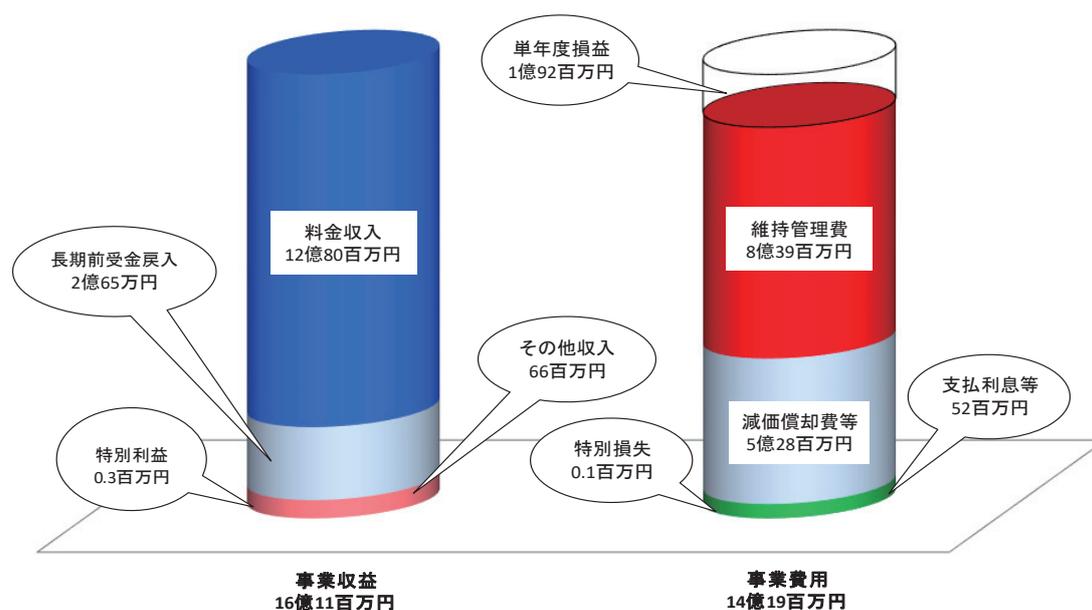
一時借入金はありません。

4 前年度決算との比較(収益的収支)

(単位：千円、%)

	平成30年度(A)	令和元年度(B)	差引(B-A)	前年度比
事業収益(a)	1,657,294	1,610,678	△ 46,616	97.19
料金収入	1,301,876	1,279,521	△ 22,355	98.28
長期前受金戻入	288,826	264,759	△ 24,067	91.67
その他収入	59,850	66,109	6,259	110.46
特別利益	6,742	289	△ 6,453	4.29
事業費用(b)	1,826,628	1,418,998	△ 407,630	77.68
維持管理費	879,327	838,815	△ 40,512	95.39
減価償却費等	886,487	528,310	△ 358,177	59.60
支払利息等	60,525	51,824	△ 8,701	85.62
特別損失	289	49	△ 240	16.96
単年度損益(a-b)	△ 169,334	191,680	361,014	△ 113.20
未処分利益剰余金	534,634	970,233	—	—
単年度損益	△ 169,334	191,680	—	—
未処分利益剰余金	0	243,919	—	—
変動額	—	—	—	—
前年度繰越利益剰余金	703,968	534,634	—	—
利益処分(案)	0	903,233	—	—
減債積立金	0	659,314	—	—
資本金	0	243,919	—	—
累積損益	534,634	67,000	—	—
有収水量(千m ³)	6,610	6,663	53	100.80

令和元年度収益的収支



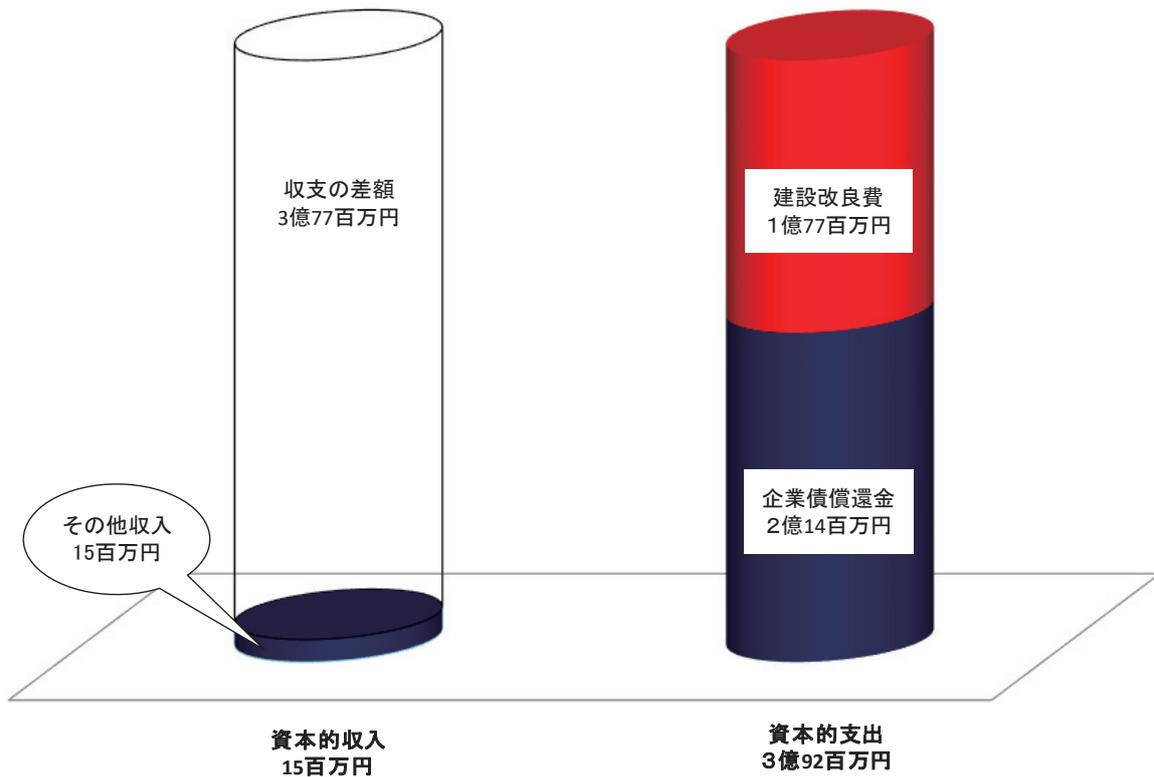
5 前年度決算との比較(資本的収支)

(単位：千円、%)

	平成30年度 (A)	令和元年度 (B)	差引 (B - A)	前年度比
資本的収入	136,120	14,639	△121,481	10.75
企業債	104,000	0	△104,000	皆減
その他収入	32,120	14,639	△17,481	45.58
資本的支出	428,286	391,694	△36,592	91.46
建設改良費	213,720	177,352	△36,368	82.98
企業債償還金	214,566	214,342	△224	99.90
収支の差額 (※)	△292,166	△377,055	—	—

※収支の差額については、内部留保資金等で補てんしました。

令和元年度資本的収支



(四條堰水道事業)

1 決算の概要

令和元年度決算は平成30年度と比べ、料金収入の減等により事業収益は減少しました。

一方、事業費用も維持管理費や減価償却費の減等により減少し、91百万円の単年度黒字となりました。

また、令和元年度未処分利益剰余金については、減債積立金に91百万円を積み立て、2億83百万円を資本金に組み入れる予定です。

【損益収支の推移】

(単位：千円)

	平成28年度(※1)	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業収益	1,276,226	1,231,199	1,183,257	1,159,730
事業費用	1,137,243	1,087,769	1,088,369	1,068,887
単年度損益	138,983	143,430	94,888	90,843
未処分利益剰余金	252,970	460,548	298,412	373,368
単年度損益	138,983	143,430	94,888	90,843
未処分利益剰余金変動額(※2)	0	64,148	203,524	282,525
前年度繰越利益剰余金	113,987	252,970	0	0
利益処分(案)	0	460,548	298,412	373,368
減債積立金	0	337,000	0	90,843
建設改良積立金	0	59,400	94,888	0
資本金	0	64,148	203,524	282,525
累積損益	252,970	0	0	0
有収水量(千m ³)	5,792	5,709	5,618	5,583

(※1) 平成28年度決算数値は、水道事業統合前の団体における決算数値です。

(※2) 未処分利益剰余金変動額は、企業債の償還及び建設改良費に充当した減債積立金及び建設改良積立金を振り替えた額です。

2 建設改良費の概況

建設改良費

438,396,956 円

3 企業債及び一時借入金の概況

(1) 企業債の概況

(単位 円)

前年度末未償還額	2,293,316,935
本年度起債額	141,300,000
本年度償還額	169,404,665
本年度末未償還額	2,265,212,270

令和元年度は、建設企業債 141 百万円発行しました。

(2) 一時借入金の概況

(単位 円)

前年度末残高	0
本年度借入残高最高額	0
本年度末残高	0

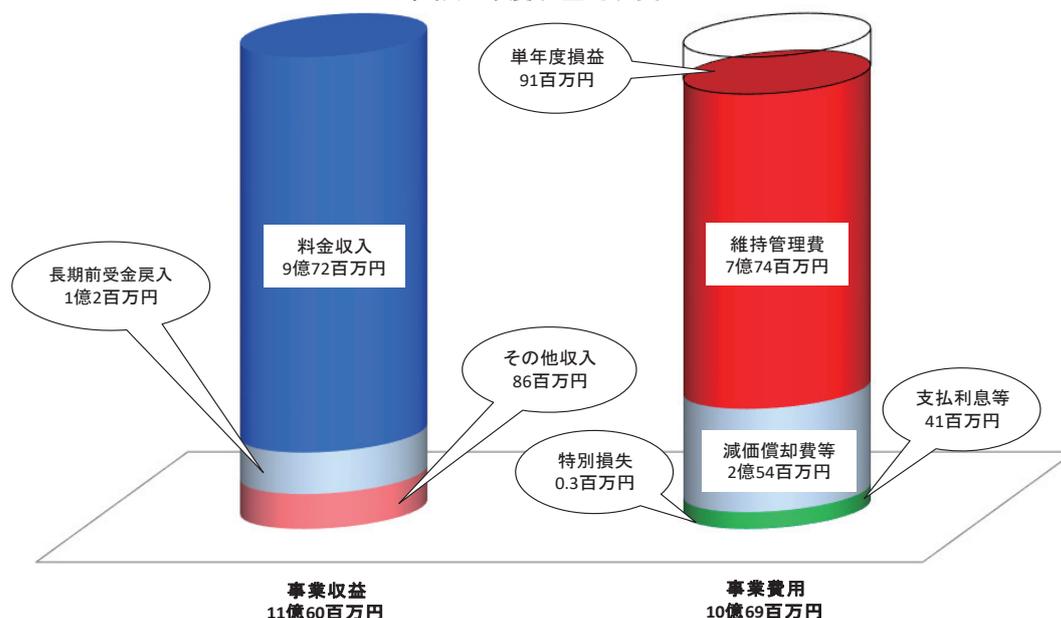
一時借入金はありません。

4 前年度決算との比較(収益的収支)

(単位：千円、%)

	平成30年度(A)	令和元年度(B)	差引(B-A)	前年度比
事業収益(a)	1,183,257	1,159,730	△23,527	98.01
料金収入	979,592	971,977	△7,615	99.22
長期前受金戻入	104,074	102,132	△1,942	98.13
その他収入	98,620	85,621	△12,999	86.82
特別利益	971	0	△971	皆減
事業費用(b)	1,088,369	1,068,887	△19,482	98.21
維持管理費	781,683	773,641	△8,042	98.97
減価償却費等	261,771	254,083	△7,688	97.06
支払利息等	44,660	40,887	△3,773	91.55
特別損失	255	276	21	108.24
単年度損益(a-b)	94,888	90,843	△4,045	95.74
未処分利益剰余金	298,412	373,368	—	—
単年度損益	94,888	90,843	—	—
未処分利益剰余金額	203,524	282,525	—	—
前年度繰越利益剰余金	0	0	—	—
利益処分(案)	298,412	373,368	—	—
減債積立金	0	90,843	—	—
建設改良積立金	94,888	0	—	—
資本金	203,524	282,525	—	—
累積損益	0	0	—	—
有収水量(千m ³)	5,618	5,583	△35	99.38

令和元年度収益的収支



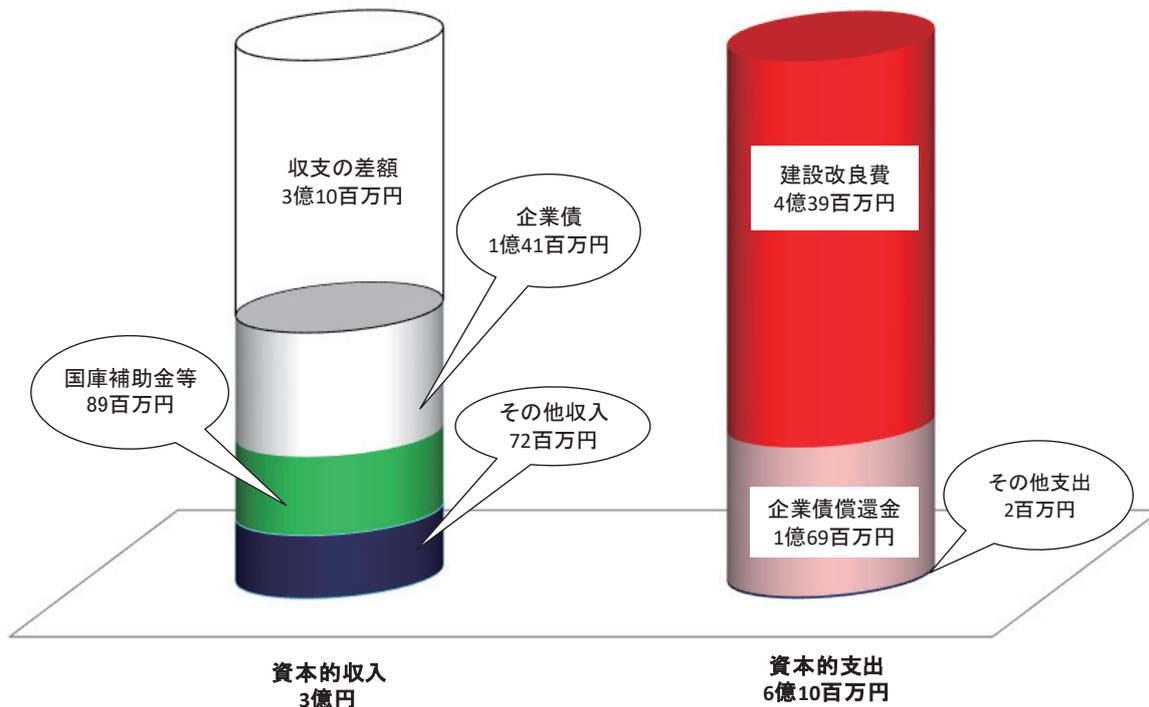
5 前年度決算との比較(資本的収支)

(単位：千円、%)

	平成30年度 (A)	令和元年度 (B)	差引 (B - A)	前年度比
資本的収入	231,773	302,571	70,798	130.55
企業債	153,000	141,300	△11,700	92.35
国庫補助金等	58,099	89,436	31,337	153.94
その他収入	20,674	71,835	51,161	347.47
資本的支出	448,185	610,393	162,208	136.19
建設改良費	273,748	438,397	164,649	160.15
企業債償還金	174,437	169,405	△5,032	97.12
その他支出	0	2,591	2,591	皆増
収支の差額 (※)	△216,412	△307,822	-	-

※収支の差額については、内部留保資金等で補てんしました。

令和元年度資本的収支



(阪南水道事業)

1 決算の概要

令和元年度決算は平成 30 年度と比べ、長期前受金戻入や特別利益の減等により事業収益は減少しました。

一方、事業費用も維持管理費や資産減耗費の減等により減少しましたが、39 百万円の単年度黒字となりました。

また、令和元年度未処分利益剰余金については、減債積立金に 2 億 64 百万円、建設改良積立金に 1 億 45 百万円を積み立て、17 億 66 百万円を資本金に組み入れる予定です。

【損益収支の推移】

(単位：千円)

	平成 30 年度 (※ 1)	令和元年度
事業収益	1,232,652	1,148,968
事業費用	1,419,627	1,109,784
単年度損益	△186,975	39,184
未処分利益剰余金	2,136,326	2,175,510
単年度損益	△186,975	39,184
未処分利益剰余金変動額(※ 2)	7,642	0
前年度繰越利益剰余金	2,315,659	2,136,326
利益処分(案)	0	2,175,510
減債積立金	0	263,806
建設改良積立金	0	145,335
資本金	0	1,766,369
累積損益	2,136,326	0
有収水量(千 m ³)	5,481	5,509

(※ 1) 平成 30 年度決算数値は、水道事業統合前の団体における決算数値です。

(※ 2) 未処分利益剰余金変動額は、企業債の償還及び建設改良費に充当した減債積立金及び建設改良積立金を振り替えた額です。

2 建設改良費の概況

建設改良費

173,508,950 円

3 企業債及び一時借入金の概況

(1) 企業債の概況

(単位 円)

前年度末未償還額	2,512,352,813
本年度起債額	16,100,000
本年度償還額	142,176,910
本年度末未償還額	2,386,275,903

令和元年度は、建設企業債 16 百万円発行しました。

(2) 一時借入金の概況

(単位 円)

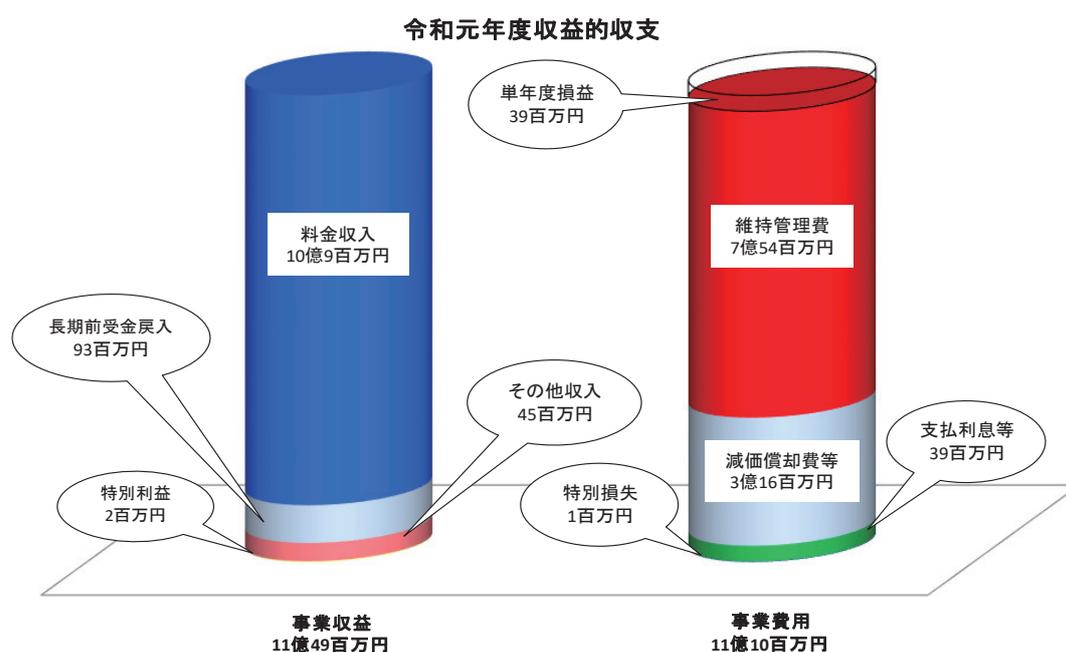
前年度末残高	0
本年度借入残高最高額	0
本年度末残高	0

一時借入金はありません。

4 前年度決算との比較(収益的収支)

(単位：千円、%)

	平成30年度(A)	令和元年度(B)	差引(B-A)	前年度比
事業収益(a)	1,232,652	1,148,968	△ 83,684	93.21
料金収入	1,005,365	1,009,179	3,814	100.38
長期前受金戻入	138,809	92,921	△ 45,888	66.94
その他収入	54,624	44,837	△ 9,787	82.08
特別利益	33,854	2,031	△ 31,823	6.00
事業費用(b)	1,419,627	1,109,784	△ 309,843	78.17
維持管理費	772,186	754,217	△ 17,969	97.67
減価償却費等	599,901	315,814	△ 284,087	52.64
支払利息等	45,427	38,958	△ 6,469	85.76
特別損失	2,113	795	△ 1,318	37.62
単年度損益(a-b)	△ 186,975	39,184	226,159	—
未処分利益剰余金	2,136,326	2,175,510	—	—
単年度損益	△ 186,975	39,184	—	—
未処分利益剰余金 変動繰越利益金	7,642	0	—	—
前年度繰越利益金	2,315,659	2,136,326	—	—
利益処分(案)	0	2,175,510	—	—
減債積立金	0	263,806	—	—
建設改良積立金	0	145,335	—	—
資本金	0	1,766,369	—	—
累積損益	2,136,326	0	—	—
有収水量(千m ³)	5,481	5,509	28	100.51



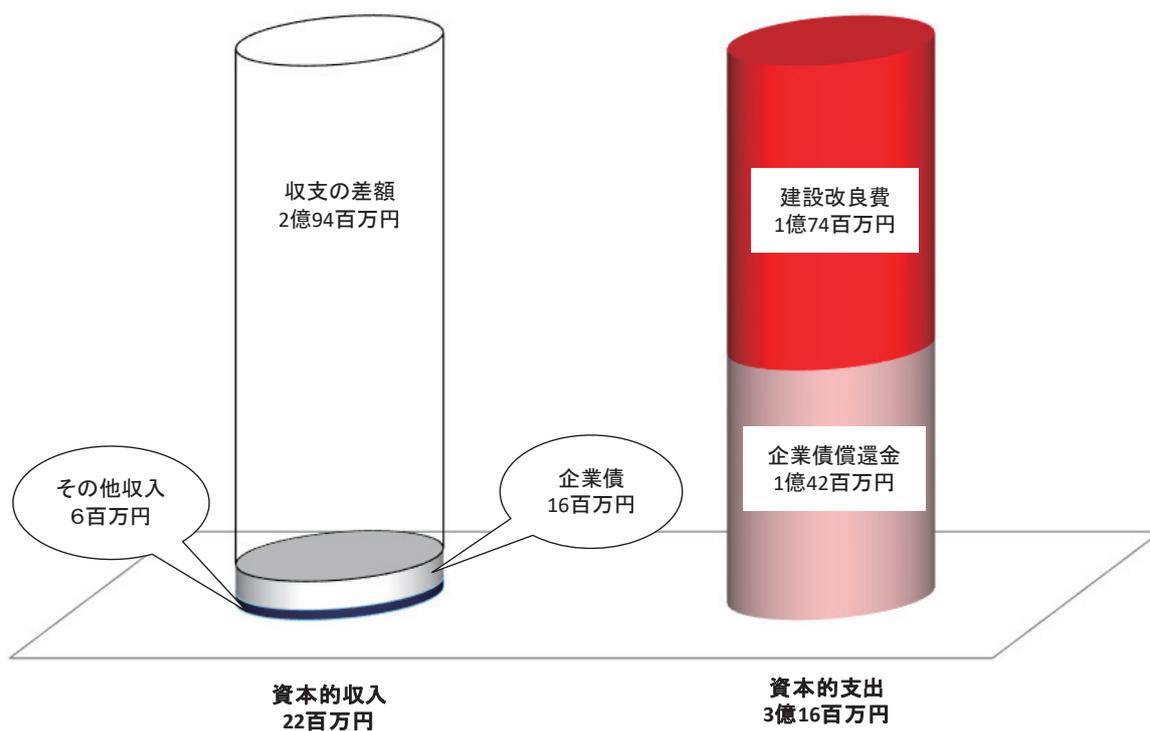
5 前年度決算との比較(資本的収支)

(単位：千円、%)

	平成30年度 (A)	令和元年度 (B)	差引 (B - A)	前年度比
資本的収入	68,269	22,010	△46,259	32.24
企業債	43,600	16,100	△27,500	36.93
その他収入	24,669	5,910	△18,759	23.96
資本的支出	326,160	315,686	△10,474	96.79
建設改良費	163,800	173,509	9,709	105.93
企業債償還金	162,360	142,177	△20,183	87.57
収支の差額 (※)	△257,891	△293,676	—	—

※収支の差額については、内部留保資金等で補てんしました。

令和元年度資本的収支



(豊能水道事業)

1 決算の概要

令和元年度決算は平成 30 年度と比べ、料金収入や長期前受金戻入の減等により事業収益は減少しました。

一方、事業費用も維持管理費や特別損失の減等により減少し、25 百万円の単年度黒字となりました。

また、令和元年度未処分利益剰余金については、利益積立金に 10 百万円を積み立てる予定です。

【損益収支の推移】

(単位：千円)

	平成 30 年度 (※)	令和元年度
事業収益	721,659	672,999
事業費用	719,840	647,567
単年度損益	1,819	25,432
未処分利益剰余金	△15,301	10,131
単年度損益	1,819	25,432
未処分利益剰余金変動額	0	0
前年度繰越利益剰余金	△17,120	△15,301
利益処分(案)	0	10,131
利益積立金	0	10,131
累積損益	△15,301	0
有収水量(千 m ³)	1,761	1,715

(※) 平成 30 年度決算数値は、水道事業統合前の団体における決算数値です。

2 建設改良費の概況

建設改良費

104,780,869 円

3 企業債及び一時借入金の概況

(1) 企業債の概況

(単位 円)

前年度末未償還額	2,137,420,058
本年度起債額	70,000,000
本年度償還額	215,133,998
本年度末未償還額	1,992,286,060

令和元年度は、建設企業債 70 百万円発行しました。

(2) 一時借入金の概況

(単位 円)

前年度末残高	0
本年度借入残高最高額	0
本年度末残高	0

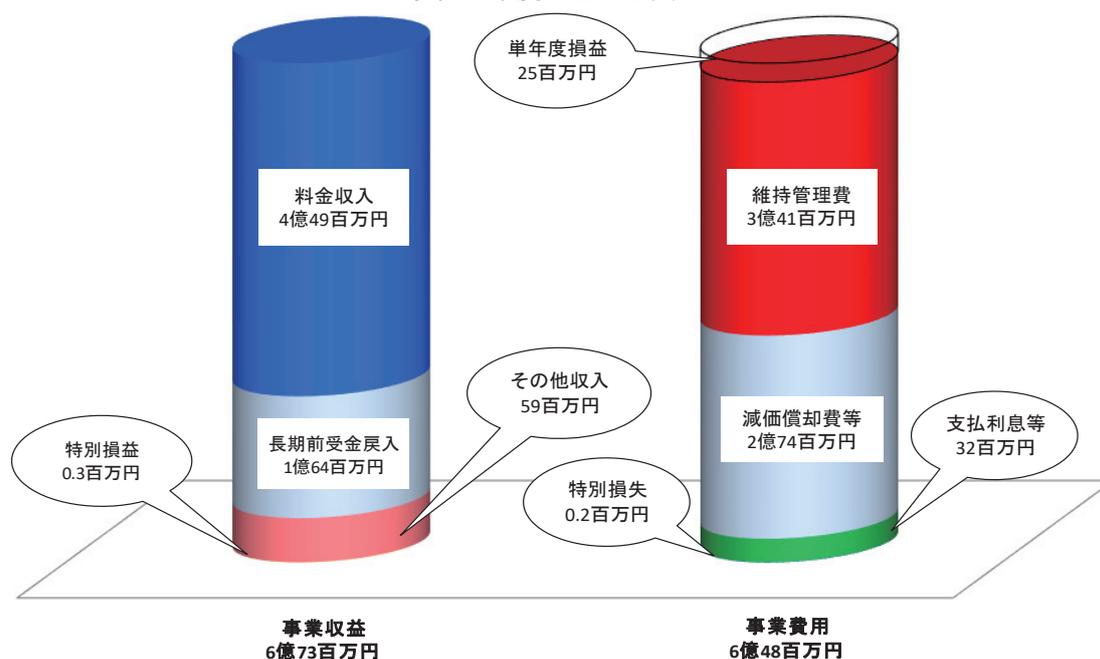
一時借入金はありません。

4 前年度決算との比較(収益的収支)

(単位：千円、%)

	平成30年度(A)	令和元年度(B)	差引 (B - A)	前年度比
事業収益(a)	721,659	672,999	△ 48,660	93.26
料金収入	453,388	448,970	△ 4,418	99.03
長期前受金戻入	172,712	164,164	△ 8,548	95.05
その他収入	94,985	59,507	△ 35,478	62.65
特別利益	574	358	△ 216	62.37
事業費用(b)	719,840	647,567	△ 72,273	89.96
維持管理費	364,323	341,586	△ 22,737	93.76
減価償却費等	273,376	274,000	624	100.23
支払利息等	35,637	31,717	△ 3,920	89.00
特別損失	46,504	264	△ 46,240	0.57
単年度損益(a-b)	1,819	25,432	23,613	1,398.13
未処分利益剰余金	△ 15,301	10,131	—	—
単年度損益	1,819	25,432	—	—
未処分利益剰余金 変動額	0	0	—	—
前年度繰越利益 剰余金	△ 17,120	△ 15,301	—	—
利益処分(案)	0	10,131	—	—
利益積立金	0	10,131	—	—
累積損益	△ 15,301	0	—	—
有収水量(千m ³)	1,761	1,715	△ 46	97.39

令和元年度収益的収支



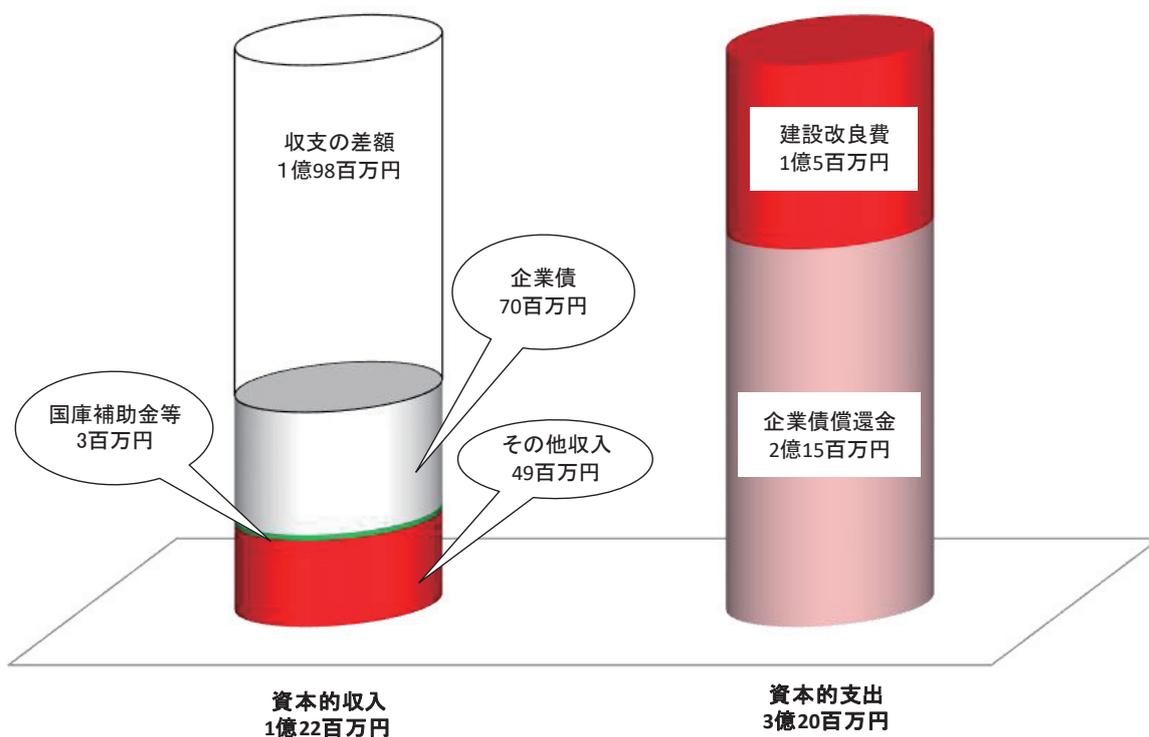
5 前年度決算との比較(資本的収支)

(単位：千円、%)

	平成30年度 (A)	令和元年度 (B)	差引 (B - A)	前年度比
資本的収入	147,114	122,266	△24,848	83.11
企業債	84,000	70,000	△14,000	83.33
国庫補助金等	0	3,146	3,146	皆増
その他収入	63,114	49,120	△13,994	77.83
資本的支出	297,917	319,915	21,998	107.38
建設改良費	89,611	104,781	15,170	116.93
企業債償還金	208,306	215,134	6,828	103.28
収支の差額 (※)	△150,803	△197,649	—	—

※収支の差額については、内部留保資金等で補てんしました。

令和元年度資本的収支



(忠岡水道事業)

1 決算の概要

令和元年度決算は平成30年度と比べ、料金収入の増等により事業収益は増加しました。

一方、事業費用は資産減耗費や特別損失の減等により減少し、10百万円の単年度黒字となりました。

また、令和元年度未処分利益剰余金については、減債積立金に94百万円、建設改良積立金に1億69百万円を積み立て、18百万円を資本金に組み入れる予定です。

【損益収支の推移】

(単位：千円)

	平成30年度(※1)	令和元年度
事業収益	317,164	320,190
事業費用	399,570	310,391
単年度損益	△82,406	9,799
未処分利益剰余金	253,337	281,202
単年度損益	△82,406	9,799
未処分利益剰余金変動額(※2)	0	18,066
前年度繰越利益剰余金	335,743	253,337
利益処分(案)	0	281,202
減債積立金	0	94,541
建設改良積立金	0	168,595
資本金	0	18,066
累積損益	253,337	0
有収水量(千m ³)	1,853	1,849

(※1) 平成30年度決算数値は、水道事業統合前の団体における決算数値です。

(※2) 令和元年度の未処分利益剰余金変動額は、企業債の償還に充当した減債積立金を振り替えた額です。

2 建設改良費の概況

建設改良費

115,640 円

3 企業債及び一時借入金の概況

(1) 企業債の概況

(単位 円)

前年度末未償還額	393,976,376
本年度起債額	0
本年度償還額	18,066,093
本年度末未償還額	375,910,283

新規発行はありません。

(2) 一時借入金の概況

(単位 円)

前年度末残高	0
本年度借入残高最高額	0
本年度末残高	0

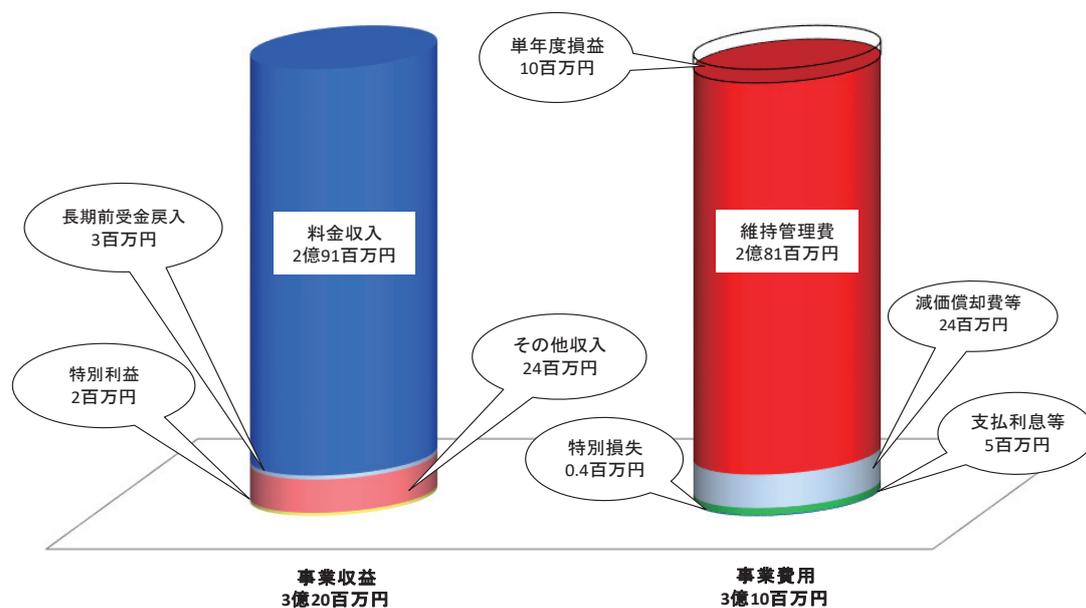
一時借入金はありません。

4 前年度決算との比較(収益的収支)

(単位：千円、%)

	平成30年度(A)	令和元年度(B)	差引(B-A)	前年度比
事業収益(a)	317,164	320,190	3,026	100.95
料金収入	289,728	291,290	1,562	100.54
長期前受金戻入	2,252	2,824	572	125.40
その他収入	23,035	23,879	844	103.66
特別利益	2,149	2,197	48	102.23
事業費用(b)	399,570	310,391	△ 89,179	77.68
維持管理費	299,660	280,744	△ 18,916	93.69
減価償却費等	34,650	24,015	△ 10,635	69.31
支払利息等	5,512	5,241	△ 271	95.08
特別損失	59,748	391	△ 59,357	0.65
単年度損益(a-b)	△ 82,406	9,799	92,205	—
未処分利益剰余金	253,337	281,202	—	—
単年度損益	△ 82,406	9,799	—	—
未処分利益剰余金 変動額	0	18,066	—	—
前年度繰越利益 剰余金	335,743	253,337	—	—
利益処分(案)	0	281,202	—	—
減債積立金	0	94,541	—	—
建設改良積立金	0	168,595	—	—
資本金	0	18,066	—	—
累積損益	253,337	0	—	—
有収水量(千m ³)	1,853	1,849	△ 4	99.78

令和元年度収益的収支



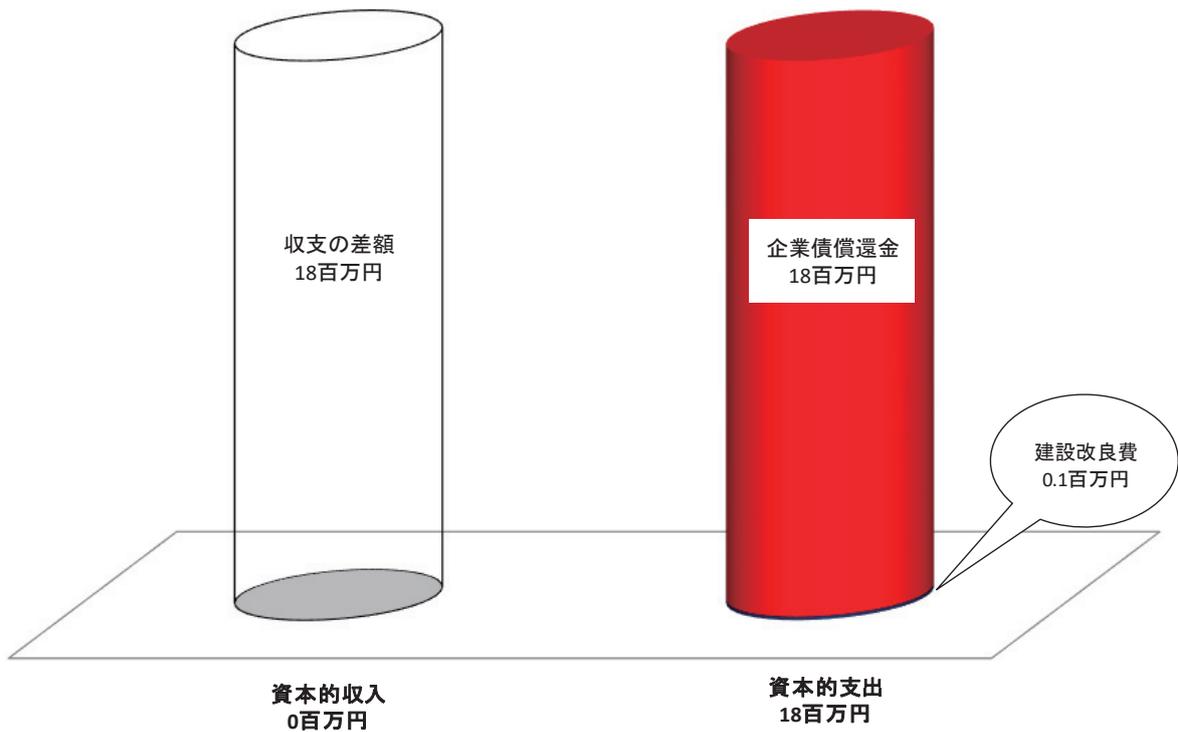
5 前年度決算との比較(資本的収支)

(単位：千円、%)

	平成30年度 (A)	令和元年度 (B)	差引 (B - A)	前年度比
資本的収入	55,000	0	△55,000	皆減
企業債	55,000	0	△55,000	皆減
資本的支出	77,629	18,182	△59,447	23.42
建設改良費	55,418	116	△55,302	0.21
企業債償還金	22,211	18,066	△4,145	81.34
収支の差額 (※)	△22,629	△18,182	-	-

※収支の差額については、内部留保資金等で補てんしました。

令和元年度資本的収支



(田尻水道事業)

1 決算の概要

令和元年度決算は平成30年度と比べ、料金収入の増により事業収益は増加しました。

一方、事業費用は維持管理費の減等により減少し、41百万円の単年度黒字となりました。

また、令和元年度未処分利益剰余金については、減債積立金に6百万円、建設改良積立金に1億31百万円を積み立て、57百万円を資本金に組み入れる予定です。

【損益収支の推移】

(単位：千円)

	平成30年度(※1)	令和元年度
事業収益	260,630	263,843
事業費用	226,900	223,144
単年度損益	33,730	40,699
未処分利益剰余金	147,252	193,812
単年度損益	33,730	40,699
未処分利益剰余金変動額(※2)	5,687	5,861
前年度繰越利益剰余金	107,835	147,252
利益処分(案)	0	193,812
減債積立金	0	5,984
建設改良積立金	0	130,657
資本金	0	57,171
累積損益	147,252	0
有収水量(千m ³)	993	1,006

(※1) 平成30年度決算数値は、水道事業統合前の団体における決算数値です。

(※2) 未処分利益剰余金変動額は、企業債の償還に充当した減債積立金を振り替えた額です。

2 建設改良費の概況

建設改良費

0円

3 企業債及び一時借入金の概況

(1) 企業債の概況

(単位 円)

前年度末未償還額	76,876,336
本年度起債額	0
本年度償還額	5,860,699
本年度末未償還額	71,015,637

新規発行はありません。

(2) 一時借入金の概況

(単位 円)

前年度末残高	0
本年度借入残高最高額	0
本年度末残高	0

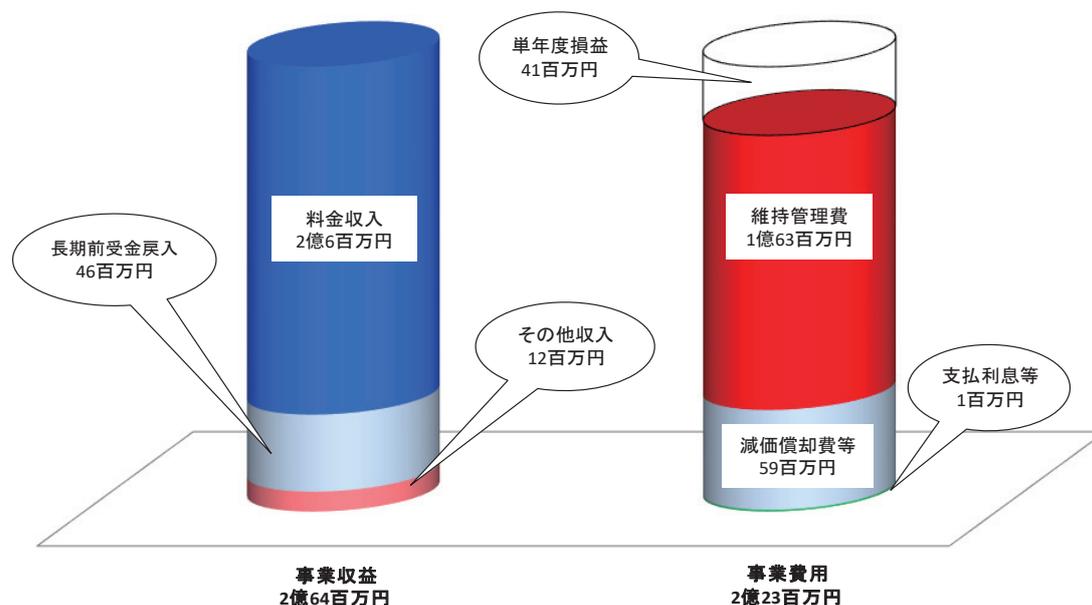
一時借入金はありません。

4 前年度決算との比較(収益的収支)

(単位：千円、%)

	平成30年度(A)	令和元年度(B)	差引(B-A)	前年度比
事業収益(a)	260,630	263,843	3,213	101.23
料金収入	200,343	206,362	6,019	103.00
長期前受金戻入	45,691	45,690	△1	100.00
その他収入	14,315	11,791	△2,524	82.37
特別利益	281	0	△281	皆減
事業費用(b)	226,900	223,144	△3,756	98.34
維持管理費	167,556	162,858	△4,698	97.20
減価償却費等	58,159	59,274	1,115	101.92
支払利息等	1,185	1,012	△173	85.40
単年度損益(a-b)	33,730	40,699	6,969	120.66
未処分利益剰余金	147,252	193,812	—	—
単年度損益	33,730	40,699	—	—
未処分利益剰余金 変動額	5,687	5,861	—	—
前年度繰越利益 剰余金	107,835	147,252	—	—
利益処分(案)	0	193,812	—	—
減債積立金	0	5,984	—	—
建設改良積立金	0	130,657	—	—
資本金	0	57,171	—	—
累積損益	147,252	0	—	—
有収水量(千m ³)	993	1,006	13	101.31

令和元年度収益的収支



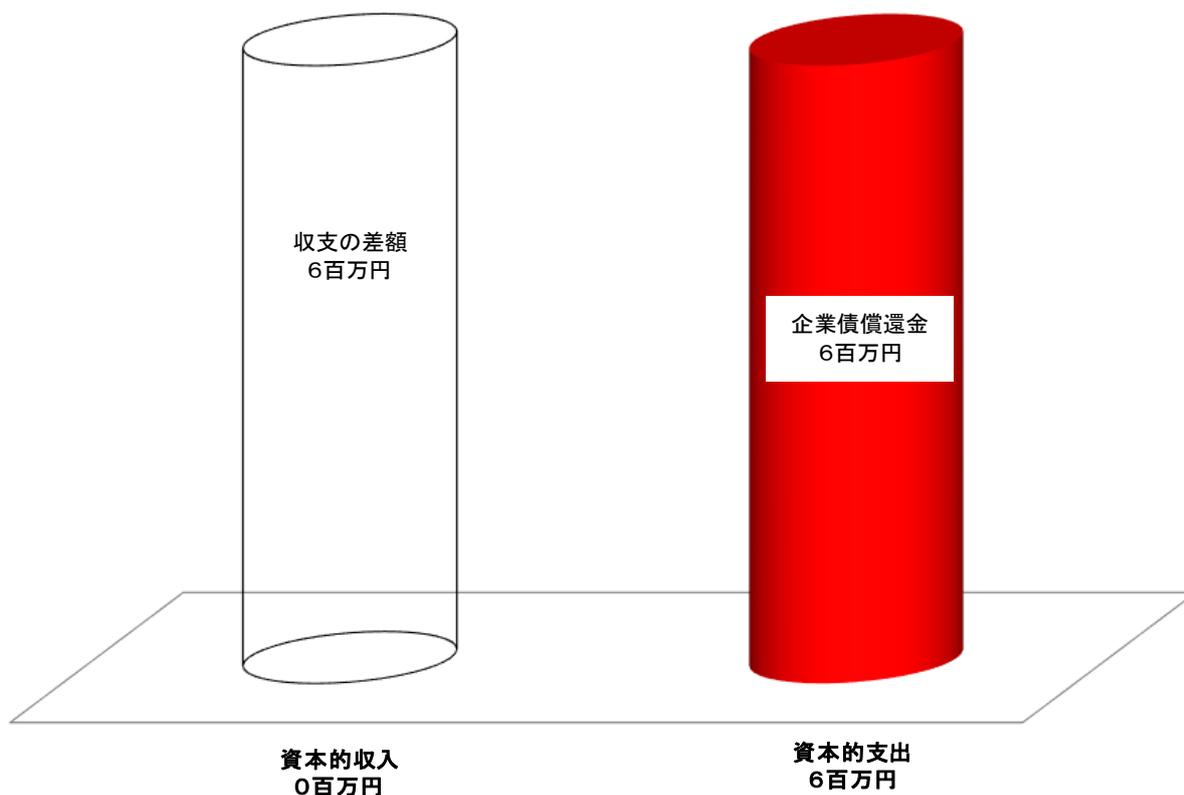
5 前年度決算との比較(資本的収支)

(単位：千円、%)

	平成30年度 (A)	令和元年度 (B)	差引 (B - A)	前年度比
資本的収入	0	0	0	—
資本的支出	22,492	5,861	△16,631	26.06
建設改良費	16,250	0	△16,250	0.00
企業債償還金	5,687	5,861	174	103.06
その他支出	555	0	△555	皆減
収支の差額 (※)	△22,492	△5,861	—	—

※収支の差額については、内部留保資金等で補てんしました。

令和元年度資本的収支



(岬水道事業)

1 決算の概要

令和元年度決算は平成30年度と比べ、料金収入の減等により事業収益は減少しました。

一方、事業費用も維持管理費や特別損失の減等により減少し、70百万円の単年度黒字となりました。

また、令和元年度未処分利益剰余金については、減債積立金に2億7百万円を積み立て、4億53百万円を資本金に組み入れる予定です。

【損益収支の推移】

(単位：千円)

	平成30年度(※1)	令和元年度
事業収益	515,614	482,165
事業費用	469,600	412,478
単年度損益	46,014	69,687
未処分利益剰余金	566,308	660,395
単年度損益	46,014	69,687
未処分利益剰余金変動額(※2)	0	24,400
前年度繰越利益剰余金	520,294	566,308
利益処分(案)	0	660,395
減債積立金	0	207,392
建設改良積立金	0	0
資本金	0	453,003
累積損益	566,308	0
有収水量(千m ³)	1,785	1,729

(※1) 平成30年度決算数値は、水道事業統合前の団体における決算数値です。

(※2) 未処分利益剰余金変動額は、企業債の償還に充当した減債積立金を振り替えた額です。

2 建設改良費の概況

建設改良費

8,120,390 円

3 企業債及び一時借入金の概況

(1) 企業債の概況

(単位 円)

前年度末未償還額	990,735,606
本年度起債額	3,500,000
本年度償還額	159,711,059
本年度末未償還額	834,524,547

令和元年度は、建設企業債4百万円発行しました。

(2) 一時借入金の概況

(単位 円)

前年度末残高	0
本年度借入残高最高額	0
本年度末残高	0

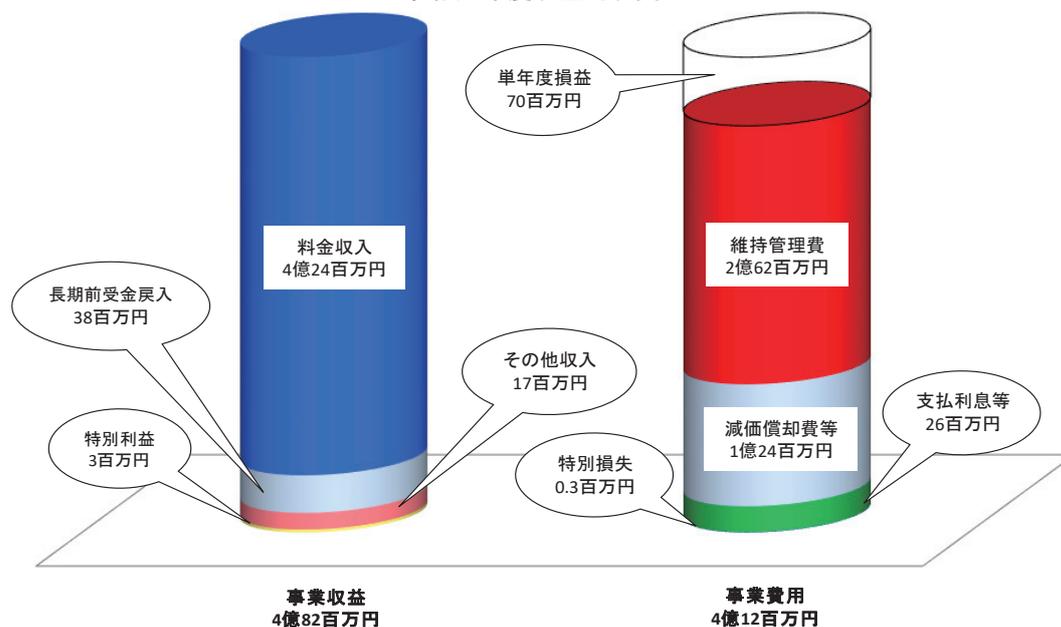
一時借入金はありません。

4 前年度決算との比較(収益的収支)

(単位：千円、%)

	平成30年度(A)	令和元年度(B)	差引(B-A)	前年度比
事業収益(a)	515,614	482,165	△ 33,449	93.51
料金収入	446,459	424,160	△ 22,299	95.01
長期前受金戻入	42,614	38,102	△ 4,512	89.41
その他収入	15,350	16,948	1,598	110.41
特別利益	11,191	2,955	△ 8,236	26.41
事業費用(b)	469,600	412,478	△ 57,122	87.84
維持管理費	279,834	262,054	△ 17,780	93.65
減価償却費等	123,857	123,840	△ 17	99.99
支払利息等	32,668	26,325	△ 6,343	80.58
特別損失	33,241	259	△ 32,982	0.78
単年度損益(a-b)	46,014	69,687	23,673	151.45
未処分利益剰余金	566,308	660,395	—	—
単年度損益	46,014	69,687	—	—
未処分利益剰余金額	0	24,400	—	—
繰越利益剰余金	520,294	566,308	—	—
利益処分(案)	0	660,395	—	—
減債積立金	0	207,392	—	—
建設改良積立金	0	0	—	—
資本金	0	453,003	—	—
累積損益	566,308	0	—	—
有収水量(千m ³)	1,785	1,729	△ 56	96.86

令和元年度収益的収支



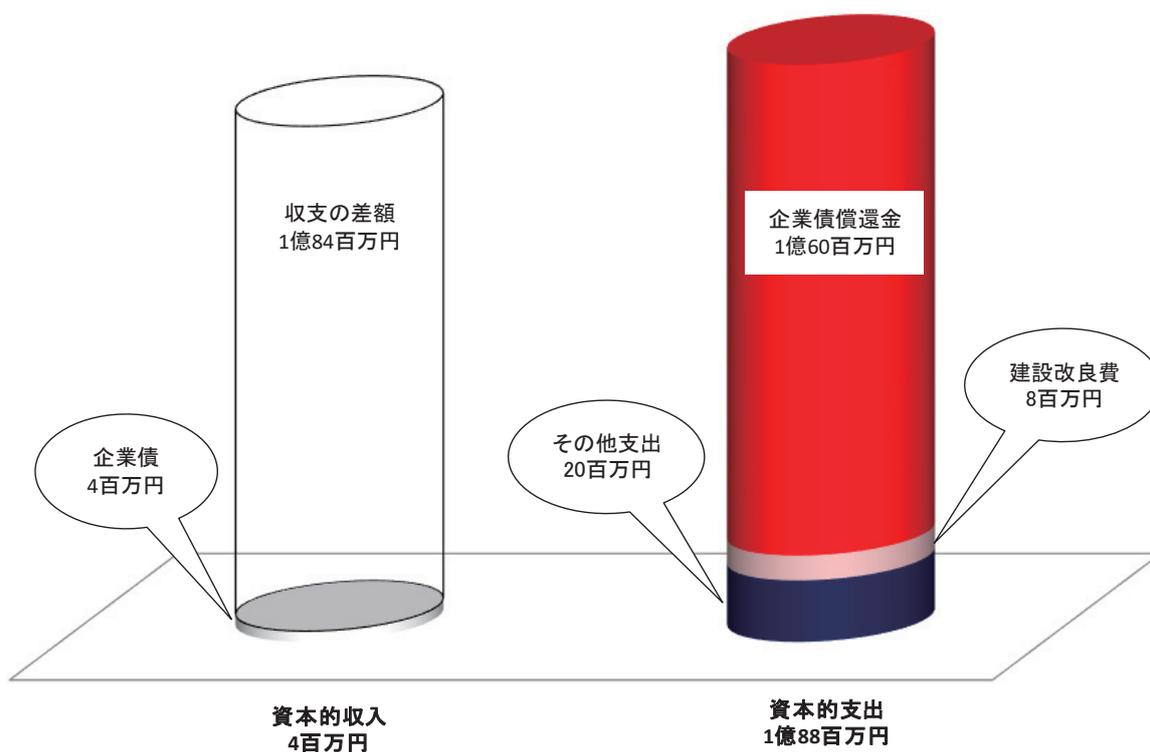
5 前年度決算との比較(資本的収支)

(単位：千円、%)

	平成30年度 (A)	令和元年度 (B)	差引 (B - A)	前年度比
資本的収入	114	3,500	3,386	3,070.18
企業債	0	3,500	3,500	皆増
その他収入	114	0	△114	皆減
資本的支出	176,647	187,831	11,184	106.33
建設改良費	252	8,120	7,868	3,222.22
企業債償還金	176,395	159,711	△16,684	90.54
その他支出	0	20,000	20,000	皆増
収支の差額 (※)	△176,533	△184,331	—	—

※収支の差額については、内部留保資金等で補てんしました。

令和元年度資本的収支



(太子水道事業)

1 決算の概要

令和元年度決算は平成 30 年度と比べ、料金収入や特別利益の減等により事業収益は減少しました。

一方、事業費用は維持管理費や減価償却費の増等により増加しましたが、15 百万円の単年度黒字となりました。

また、令和元年度未処分利益剰余金については、減債積立金に 1 億 9 百万円、建設改良積立金に 1 億 42 百万円を積み立て、63 百万円を資本金に組み入れる予定です。

【損益収支の推移】

(単位：千円)

	平成 28 年度(※1)	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
事業収益	270,400	250,108	271,313	270,736
事業費用	240,863	237,259	232,134	256,051
単年度損益	29,537	12,849	39,179	14,685
未処分利益剰余金	219,164	343,534	313,904	314,634
単年度損益	29,537	12,849	39,179	14,685
未処分利益剰余金変動額(※2)	0	111,521	77,374	63,419
前年度繰越利益剰余金	189,627	219,164	197,351	236,530
利益処分(案)	0	146,183	77,374	314,634
減債積立金	0	34,662	0	109,000
建設改良積立金	0	0	0	142,215
資本金	0	111,521	77,374	63,419
累積損益	219,164	197,351	236,530	0
有収水量(千 m ³)	1,330	1,319	1,296	1,272

(※1) 平成 28 年度決算数値は、水道事業統合前の団体における決算数値です。

(※2) 未処分利益剰余金変動額は、企業債の償還及び建設改良費に充当した減債積立金及び建設改良積立金を振り替えた額です。

2 建設改良費の概況

建設改良費

49,955,381円

3 企業債及び一時借入金の概況

(1) 企業債の概況

(単位 円)

前年度末未償還額	225,197,494
本年度起債額	0
本年度償還額	25,996,773
本年度末未償還額	199,200,721

新規発行はありません。

(2) 一時借入金の概況

(単位 円)

前年度末残高	0
本年度借入残高最高額	0
本年度末残高	0

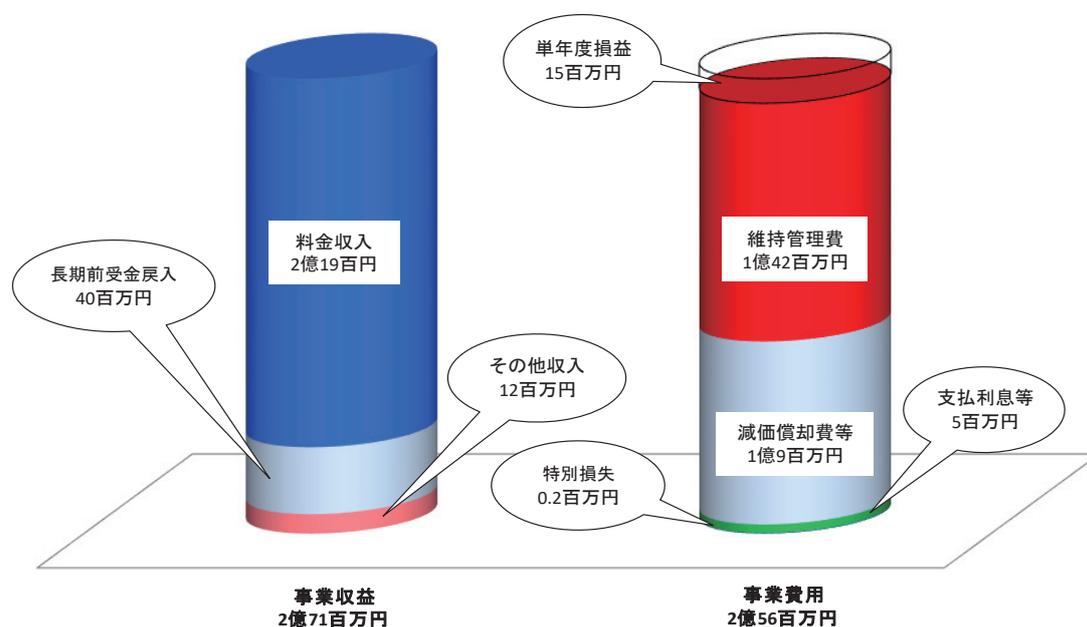
一時借入金はありません。

4 前年度決算との比較(収益的収支)

(単位：千円、%)

	平成30年度(A)	令和元年度(B)	差引(B-A)	前年度比
事業収益(a)	271,313	270,736	△ 577	99.79
料金収入	224,396	219,378	△ 5,018	97.76
長期前受金戻入	20,764	39,800	19,036	191.68
その他収入	12,319	11,558	△ 761	93.82
特別利益	13,834	0	△ 13,834	皆減
事業費用(b)	232,134	256,051	23,917	110.30
維持管理費	138,255	141,738	3,483	102.52
減価償却費等	87,923	108,916	20,993	123.88
支払利息等	5,846	5,168	△ 678	88.40
特別損失	110	229	119	208.18
単年度損益(a-b)	39,179	14,685	△ 24,494	37.48
未処分利益剰余金	313,904	314,634	—	—
単年度損益	39,179	14,685	—	—
未処分利益剰余金 変動額	77,374	63,419	—	—
前年度繰越利益 剰余金	197,351	236,530	—	—
利益処分(案)	77,374	314,634	—	—
減債積立金	0	109,000	—	—
建設改良積立金	0	142,215	—	—
資本金	77,374	63,419	—	—
累積損益	236,530	0	—	—
有収水量(千m ³)	1,296	1,272	△ 24	98.15

令和元年度収益的収支



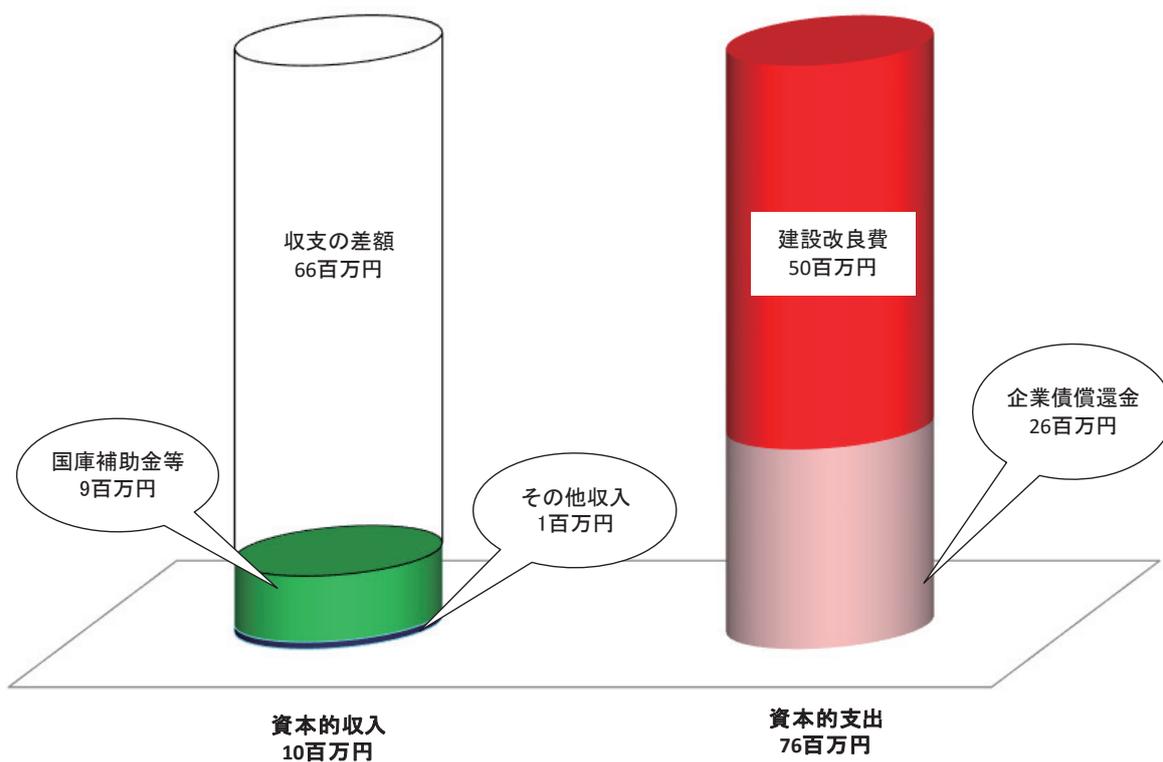
5 前年度決算との比較(資本的収支)

(単位：千円、%)

	平成30年度 (A)	令和元年度 (B)	差引 (B - A)	前年度比
資本的収入	18,259	9,503	△8,756	52.05
国庫補助金等	18,259	8,583	△9,676	47.01
その他収入	0	920	920	皆増
資本的支出	98,362	75,952	△22,410	77.22
建設改良費	73,043	49,955	△23,088	68.39
企業債償還金	25,319	25,997	678	102.68
収支の差額 (※)	△80,103	△66,449	—	—

※収支の差額については、内部留保資金等で補てんしました。

令和元年度資本的収支



(千早赤阪水道事業)

1 決算の概要

令和元年度決算は平成 30 年度と比べ、千早赤阪村からの繰入金の増等により事業収益は増加しました。

一方、事業費用も維持管理費や資産減耗費の増等により増加しましたが、11 百万円の単年度黒字となりました。

また、令和元年度未処分利益剰余金については、減債積立金に 11 百万円を積み立て、10 百万円を資本金に組み入れる予定です。

【損益収支の推移】

(単位：千円)

	平成 28 年度(※1)	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
事業収益	169,013	174,482	165,537	182,150
事業費用	179,177	164,126	155,141	170,914
単年度損益	△10,164	10,356	10,396	11,236
未処分利益剰余金	15,869	26,225	36,356	21,632
単年度損益	△10,164	10,356	10,396	11,236
未処分利益剰余金変動額(※2)	0	0	25,960	10,396
前年度繰越利益剰余金	26,033	15,869	0	0
利益処分(案)	0	26,225	36,356	21,632
減債積立金	0	25,960	10,396	11,236
資本金	0	265	25,960	10,396
累積損益	15,869	0	0	0
有収水量(千 m ³)	585	581	558	539

(※1) 平成 28 年度決算数値は、水道事業統合前の団体における決算数値です。

(※2) 未処分利益剰余金変動額は、企業債の償還に充当した減債積立金を振り替えた額です。

2 建設改良費の概況

建設改良費

159,867,528 円

3 企業債及び一時借入金の概況

(1) 企業債の概況

(単位 円)

前年度末未償還額	598,704,681
本年度起債額	39,600,000
本年度償還額	26,440,123
本年度末未償還額	611,864,558

令和元年度は、建設企業債 40 百万円発行しました。

(2) 一時借入金の概況

(単位 円)

前年度末残高	0
本年度借入残高最高額	0
本年度末残高	0

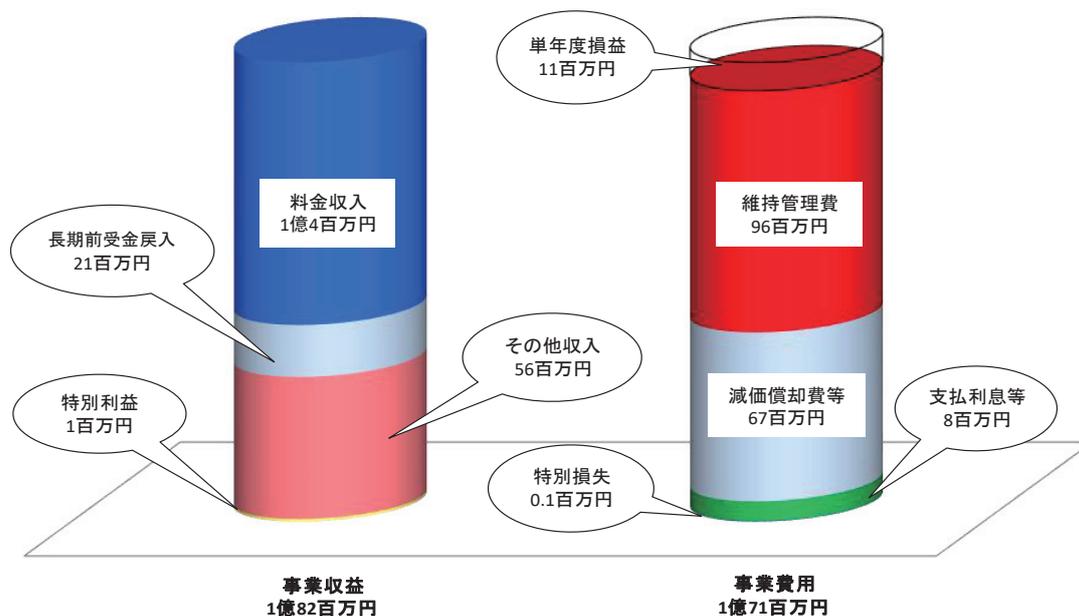
一時借入金はありません。

4 前年度決算との比較(収益的収支)

(単位：千円、%)

	平成30年度(A)	令和元年度(B)	差引(B-A)	前年度比
事業収益(a)	165,537	182,150	16,613	110.04
料金収入	107,876	104,130	△3,746	96.53
長期前受金戻入	18,957	20,620	1,663	108.77
その他収入	38,702	56,306	17,604	145.49
特別利益	2	1,094	1,092	54,700.00
事業費用(b)	155,141	170,914	15,773	110.17
維持管理費	85,976	95,787	9,811	111.41
減価償却費等	56,626	67,095	10,469	118.49
支払利息等	8,449	7,894	△555	93.43
特別損失	4,090	138	△3,952	3.37
単年度損益(a-b)	10,396	11,236	840	108.08
未処分利益剰余金	36,356	21,632	—	—
単年度損益	10,396	11,236	—	—
未処分利益剰余金額 変動	25,960	10,396	—	—
前年度繰越利益剰 余金	0	0	—	—
利益処分(案)	36,356	21,632	—	—
減債積立金	10,396	11,236	—	—
資本金	25,960	10,396	—	—
累積損益	0	0	—	—
有収水量(千m ³)	558	539	△19	96.59

令和元年度収益的収支



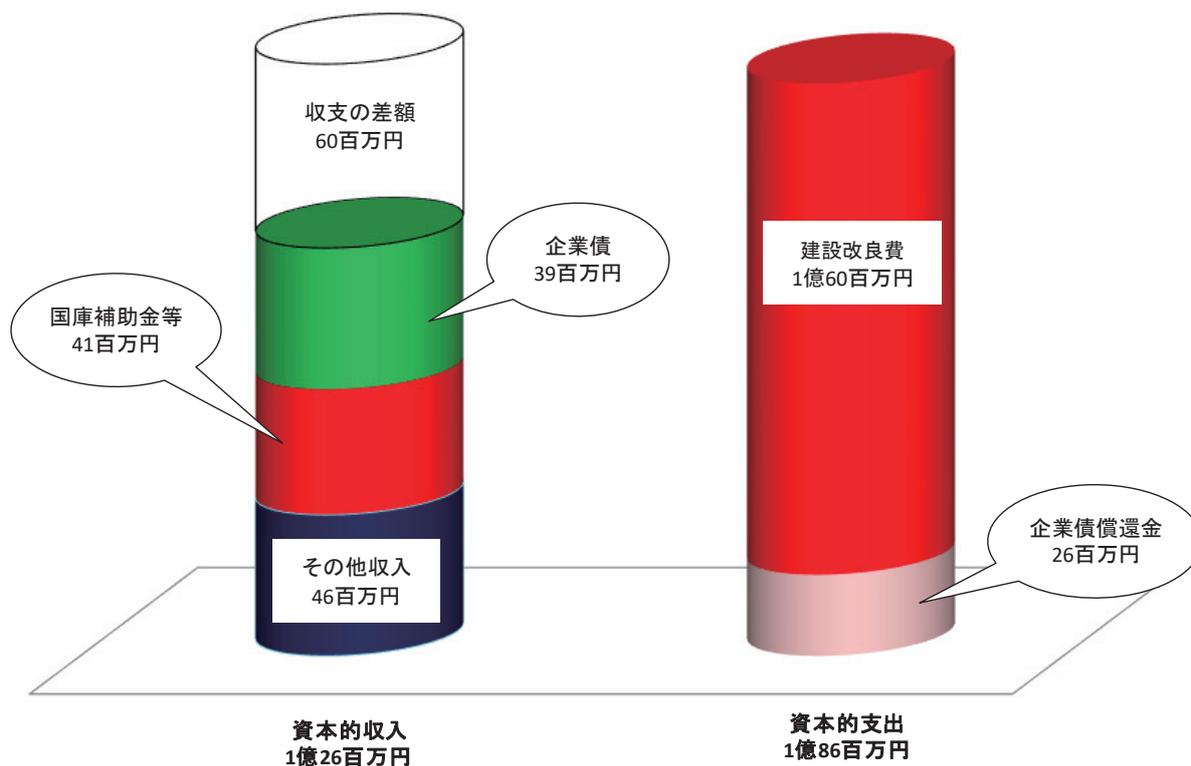
5 前年度決算との比較(資本的収支)

(単位：千円、%)

	平成30年度 (A)	令和元年度 (B)	差引 (B - A)	前年度比
資本的収入	177,668	126,411	△51,257	71.15
企業債	45,000	39,600	△5,400	88.00
国庫補助金等	49,458	40,881	△8,577	82.66
その他収入	83,210	45,930	△37,280	55.20
資本的支出	217,483	186,308	△31,175	85.67
建設改良費	190,405	159,868	△30,537	83.96
企業債償還金	27,078	26,440	△638	97.64
収支の差額 (※)	△39,815	△59,897	-	-

※収支の差額については、内部留保資金等で補てんしました。

令和元年度資本的収支



工業用水道事業会計

《工業用水道事業》

1 決算の概要

令和元年度決算は平成30年度と比べ、料金収入等の減により事業収益は減少しました。

一方、事業費用は減価償却費の増等により増加しましたが、16億72百万円の黒字となりました。

また、令和元年度未処分利益剰余金については、減債積立金に16億72百万円を積み立て、44億35百万円を資本金に組み入れる予定です。

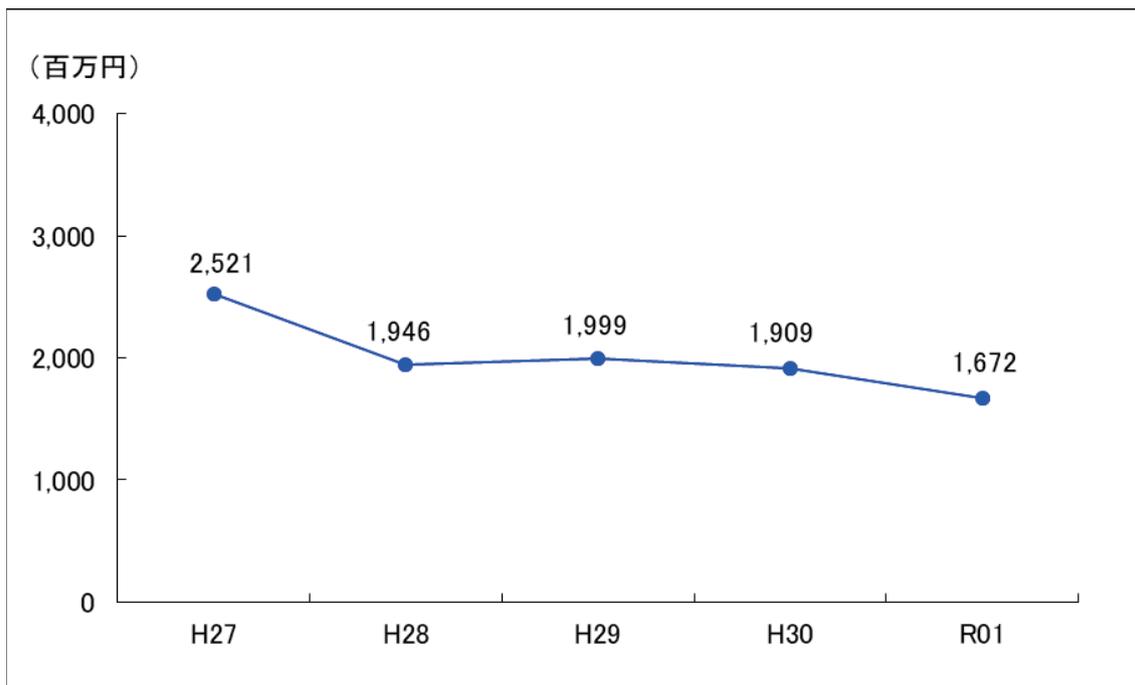
【損益収支の推移】

(単位：千円)

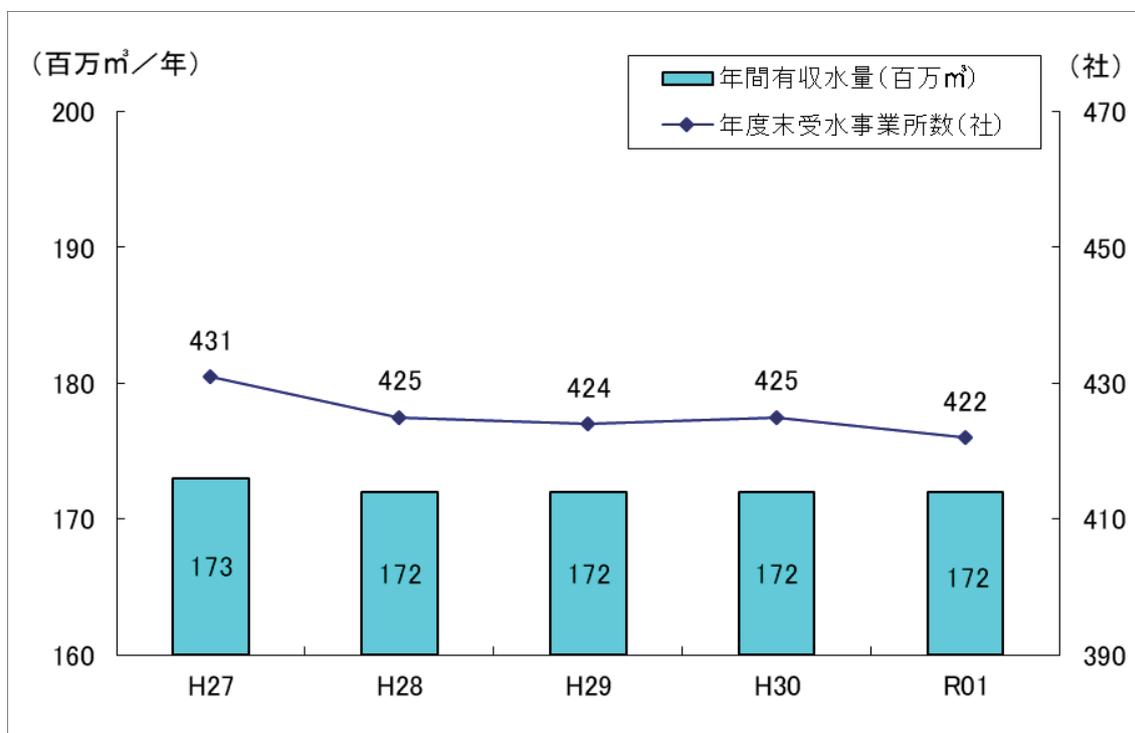
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業収益	8,559,252	7,740,217	7,818,702	7,859,875	7,725,126
事業費用	6,038,288	5,794,056	5,819,453	5,950,932	6,052,976
単年度損益	2,520,964	1,946,161	1,999,249	1,908,943	1,672,150
未処分利益剰余金	4,506,970	3,480,303	4,183,627	5,950,181	6,107,275
単年度損益	2,520,964	1,946,161	1,999,249	1,908,943	1,672,150
未処分利益剰余金変動額(※)	1,986,006	1,534,142	2,184,378	4,041,238	4,435,125
前年度繰越利益剰余金	0	0	0	0	0
利益処分(案)	4,506,970	3,480,303	4,183,627	5,950,181	6,107,275
減債積立金	0	0	0	0	1,672,150
建設改良積立金	2,520,964	1,946,161	1,999,249	1,908,943	0
資本金	1,986,006	1,534,142	2,184,378	4,041,238	4,435,125
累積損益	0	0	0	0	0
有収水量(千m ³)	172,596	171,796	172,330	172,304	171,972

(※) 未処分利益剰余金変動額は、企業債の償還及び建設改良費に充当した減債積立金及び建設改良積立金を振り替えた額です。

【単年度損益の推移】



【年間有収水量・年度末受水事業所数の推移】



2 建設改良費の概況

(単位 円)

建設改良費	3,923,426,415
増補改良費	3,923,426,415
工事費	3,899,818,149
事務費	23,608,266

3 企業債及び一時借入金の概況

(1) 企業債の概況

(単位 円)

前年度末未償還額	15,061,290,514
本年度起債額	0
本年度償還額	1,067,263,510
本年度末未償還額	13,994,027,004

新規発行はありません。

(2) 一時借入金の概況

(単位 円)

前年度末残高	0
本年度借入残高最高額	0
本年度末残高	0

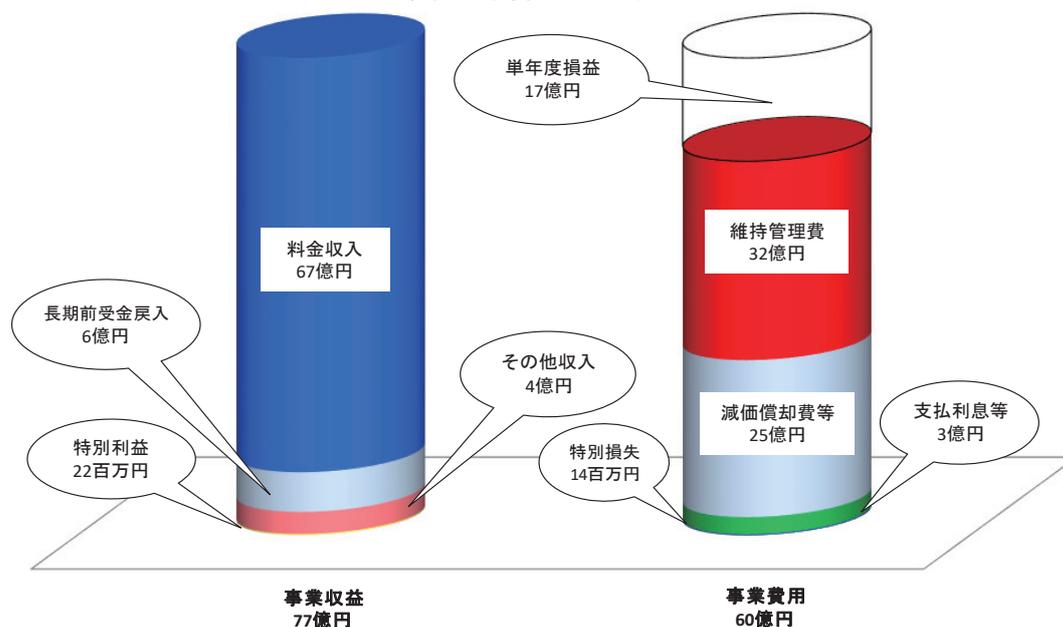
一時借入金はありません。

4 前年度決算との比較(収益的収支)

(単位：千円、%)

	平成30年度(A)	令和元年度(B)	差引(B-A)	前年度比
事業収益(a)	7,859,875	7,725,126	△ 134,749	98.29
料金収入	6,753,013	6,704,030	△ 48,983	99.27
長期前受金戻入	614,839	641,499	26,660	104.34
その他収入	476,529	357,573	△ 118,956	75.04
特別利益	15,494	22,024	6,530	142.15
事業費用(b)	5,950,932	6,052,976	102,044	101.71
維持管理費	3,223,829	3,216,811	△ 7,018	99.78
減価償却費等	2,423,282	2,541,603	118,321	104.88
支払利息等	303,821	280,556	△ 23,265	92.34
特別損失	0	14,006	14,006	皆増
単年度損益(a-b)	1,908,943	1,672,150	△ 236,793	87.60
未処分利益剰余金	5,950,181	6,107,275	-	-
単年度損益	1,908,943	1,672,150	-	-
未処分利益剰余金 変動額	4,041,238	4,435,125	-	-
前年度繰越利益 剰余金	0	0	-	-
利益処分(案)	5,950,181	6,107,275	-	-
減債積立金	0	1,672,150	-	-
建設改良積立金	1,908,943	0	-	-
資本金	4,041,238	4,435,125	-	-
累積損益	0	0	-	-
有収水量(千m ³)	172,304	171,972	△ 332	99.81

令和元年度収益的収支



5 前年度決算との比較(資本的収支)

(単位：千円、%)

	平成30年度 (A)	令和元年度 (B)	差引 (B - A)	前年度比
資本的収入	147,961	268,602	120,641	181.54
国庫補助金等	112,500	220,236	107,736	195.77
その他収入	35,461	48,366	12,905	136.39
資本的支出	4,431,330	4,990,690	559,360	112.62
建設改良費	3,354,593	3,923,426	568,833	116.96
企業債償還金	1,076,737	1,067,264	△9,473	99.12
収支の差額 (※)	△4,283,369	△4,722,088	—	—

※収支の差額については、内部留保資金等で補てんしました。

令和元年度資本的収支

